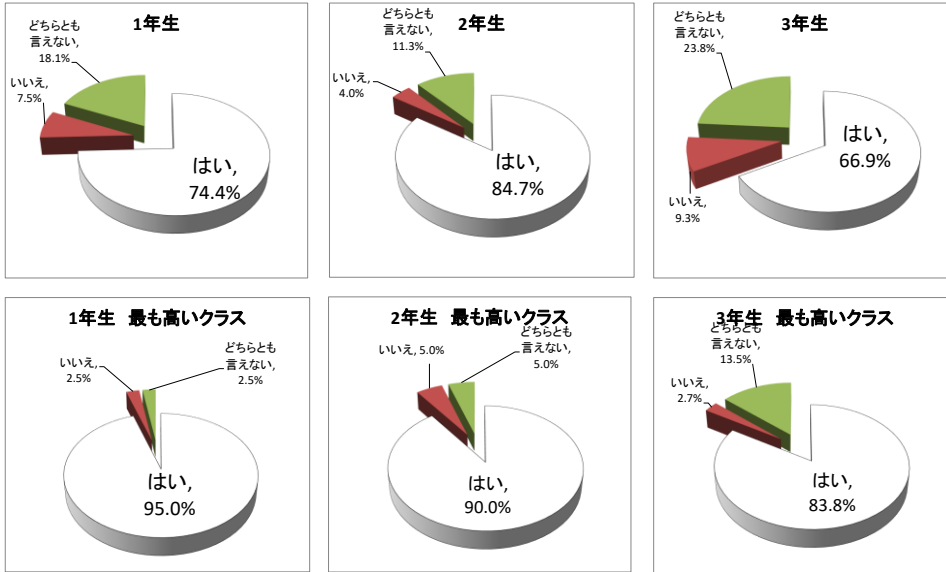


令和3年度第2回ホームルーム活動に関する調査 令和3年12月実施

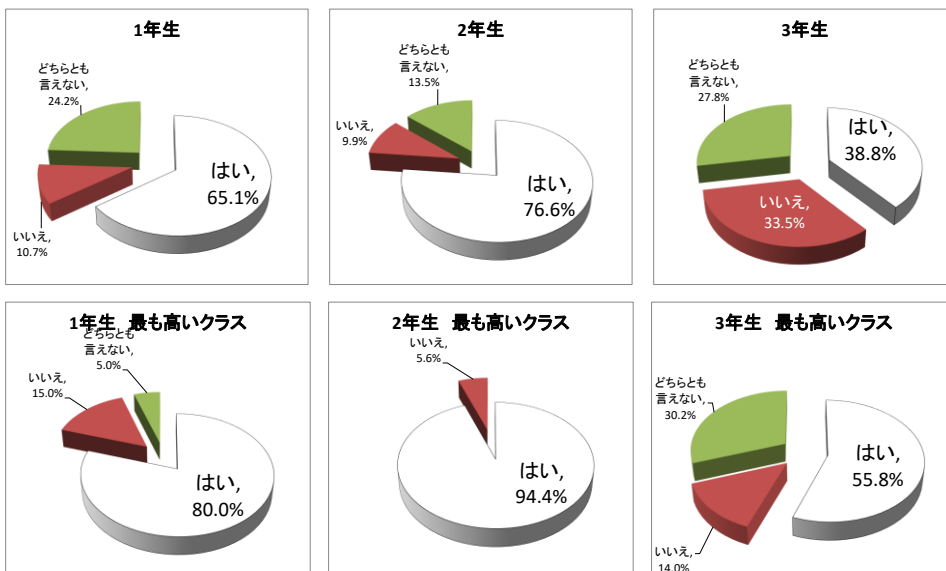
質問1 ホームルームは、毎回、テーマや活動内容があらかじめ計画されていますか。



ホームルーム活動は、年間指導計画に基づいて、意図的・計画的に実施するものですので、クラスによる差が生じることは望ましくありません。担任の先生方が、常に情報共有を行うことが求められます。

3年生は、第1回調査より、約9ポイント低下しています。2年生は、約4ポイント向上。1年生は、ほぼ若干向上しています。良い取組は学年全体で共有することが重要です。

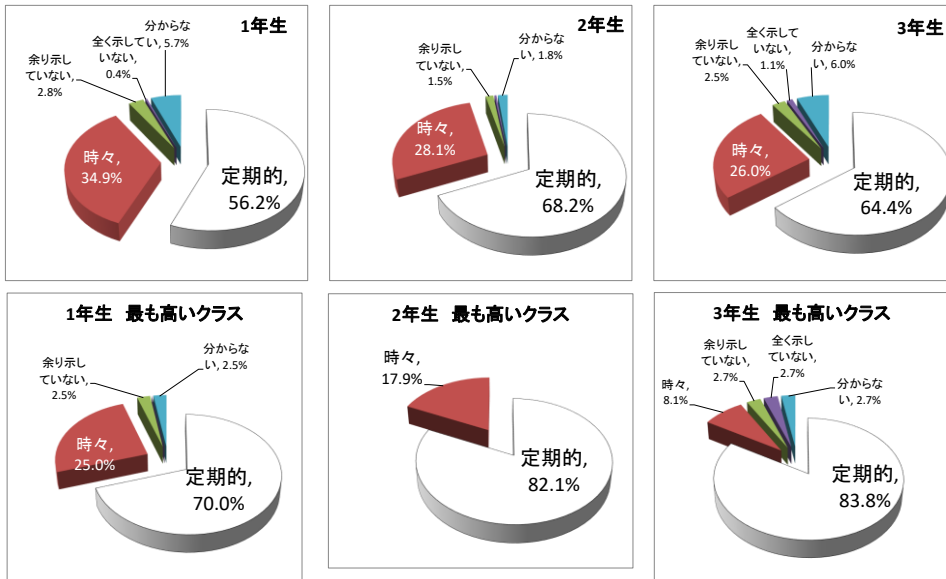
質問2 ホームルームでは、話し合いや発表などの活動が行われていますか。



話し合いや発表の活動は、生徒の自主性を涵養し、社会性を培うだけでなく、将来の進路について考え、自ら道を切り拓いていく志を立てるために重要な役割を果たしています。

全学年共、第1回調査より大きく低下しています。コロナ禍による分散登校の影響があったのかもしれませんが、2年生のみ、最も高いクラスは第1回調査とほぼ同じ水準です。3年生は、例年と大差のない結果です。

質問3 担任の先生が、ホームルームで、みなさんの学習や進路に関する期待を明確に示していますか。



生徒に対して、学習や進路に関する期待を明確に示すことは、生徒の進路実現に重大な役割を果たしています。担任の先生はもちろん、すべての教科担当の先生に、生徒に対する期待を、HR活動や授業において、毎回、明確に示すよう、学校経営計画に位置付けています。

3年生はほぼ横ばい、2年生は約4ポイント向上、1年生は約18ポイントと大幅に向上しています。